

# 大分三愛メディカルセンター

## 病院指標

作成：2015年12月

診療情報管理室

### <指標の定義と集計方法 >

- ・平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)までに退院された患者様が対象です。
- ・医療保険のみを使用された患者様が対象です。自動車賠償責任保険や労災保険、自費等は含めません。
- ・回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床のみに入院し、一般病床を一度も使用しなかった患者様は対象としません。
- ・同じ疾患で7日以内に再入院し支払いが一連になった症例は、初回の入院日から最終的な退院日までを一症例として数えています。
- ・この指標は『病院指標の作成と公開』(厚生労働省 DPC 評価分科会平成26年5月14日参考資料)に準じて作成しています。

### <DPC(診断群分類)とは>

入院で行われた治療行為を傷病名や治療内容に応じて分類することを言います。

傷病名と手術、処置の有無の組み合わせによって14桁のDPCコードが決められています。

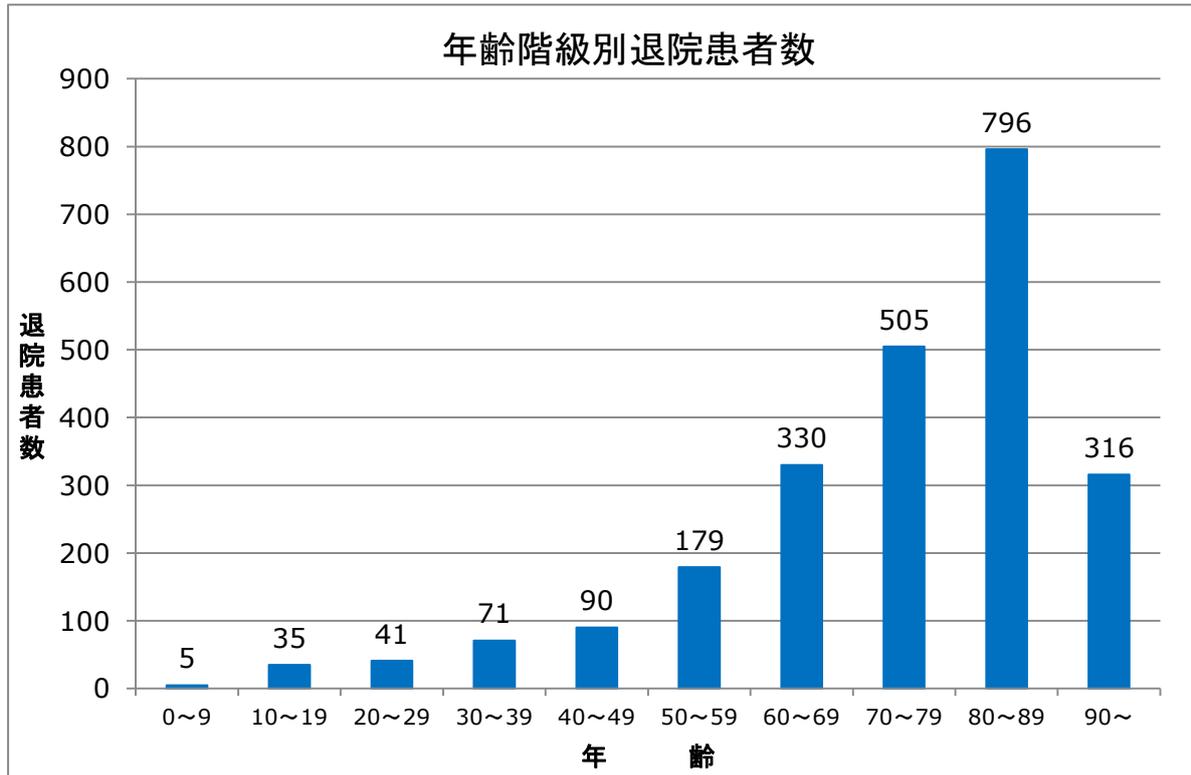
### <ICD10とは>

疾病及び関連保健問題の国際統計分類です。WHOによって公表された分類で、死因や疾病の統計、診療記録の管理などに活用されます。疾病の種類をアルファベットと数字によって表しています。

## 年齢階級別退院患者数

### <定義と集計方法>

- ・ 一般病棟の退院患者を年齢階級別(10歳刻み)で集計しました。
- ・ 年齢は入院日時点の年齢を基準としています。



### <解説>

年齢階級別では80代が一番多く全体の30%を占めています。

全体では70歳以上の患者が全体の70%以上を占めており、幅広い年齢の方を診療している中で、特に高齢者を中心に診療を行っていることが分かります。

## 診療科別症例数トップ3

### <定義と集計方法>

- ・各診療科別に症例数の多いものについてDPCコード、名称、症例数、自院の平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢、患者用パスを示しています。
- ・最終的な自院の退院をもって1カウントとします。
- ・ここでいう転院とは、最終的な退院先が転院のものとしてします。
- ・症例数が3以下の症例は除外しています
- ・手術、処置、副傷病はDPCごとに該当するものが定められています。表の中では該当ありの場合のみ内容を()内に記載しています。

### 外科

DPCコード	DPC名		症例数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者パス
	傷病名	手術・処置・副傷病情報		自院	全国			
060335xx0200xx	胆嚢水腫、胆嚢炎等	腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術あり 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	16	9.8	8.19	0.00%	65.4	なし
060330xx02xxxx	胆嚢疾患(胆嚢結石など)	腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術あり	11	7.8	7.13	0.00%	59.6	なし
060035xx0101xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術あり 手術・処置等1なし 手術・処置等21(中心静脈注射・人工呼吸)あり	7	30.1	28.20	0.00%	67.4	なし
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞	手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	7	10.3	9.16	0.04%	76.0	なし
060150xx03xx0x	虫垂炎	虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)等 手術あり 定義副傷病なし	7	6.3	5.61	0.00%	35.7	なし

### <解説>

外科の症例中、約60%は手術が行われています。食道、胃、肝・胆・膵、大腸と消化器全般の診療を行っています。

平均年齢も当院の中では比較的lowめです。

### 内科

DPCコード	DPC名		症例数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者パス
	傷病名	手術・処置・副傷病情報		自院	全国			
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎	手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	113	27.5	22.02	0.97%	85.7	なし
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上)	手術なし 手術・処置等2なし	78	15.5	14.96	0.25%	79.7	なし
050130xx99000x	心不全	手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	16	19.7	18.50	0.04%	90.3	なし

### <解説>

内科は平均年齢が全体的に高めです。

誤嚥性肺炎は、特に高齢者が罹りやすい疾患です。

### 整形外科

DPCコード	DPC名		症例数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者パス
	傷病名	手術・処置・副傷病情報		自院	全国			
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折	人工骨頭挿入術 肩、股等 手術あり	137	45.5	29.62	1.35%	85.2	なし
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰椎損傷を含む。)	手術なし 定義副傷病なし	57	31.0	21.93	0.63%	81.0	なし
160760xx97xx0x	前腕の骨折	手術あり 定義副傷病なし	21	9.0	5.86	0.04%	52.9	なし

#### <解説>

整形外科の疾患はリハビリを行うために、他の診療科より転院率が高くなっています。  
股関節の骨折は全国的にも多い疾患です。

### 脳神経外科

DPCコード	DPC名		症例数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者パス
	傷病名	手術・処置・副傷病情報		自院	全国			
010060x099030x	脳梗塞(JCS10未満)	手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等23(エダラボン)あり 定義副傷病なし	18	25.9	18.54	0.04%	72.6	なし
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷	その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	16	19.4	10.15	0.00%	77.4	なし
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷	手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	13	13.4	7.81	0.04%	60.8	なし

#### <解説>

脳梗塞の処置で使用されているエダラボンとは脳保護剤です。  
頭蓋・頭蓋内損傷は外傷性硬膜下血腫や脳挫傷などが主な疾患です。

### 泌尿器科

DPCコード	DPC名		症例数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者パス
	傷病名	手術・処置・副傷病情報		自院	全国			
11012xxx040x0x	上部尿路疾患	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(一連につき) 手術・処置等1なし 定義副傷病なし	33	2.4	2.95	0.00%	62.6	なし
110310xx99xxxx	腎臓または尿路の感染症	手術なし	14	12.0	12.67	0.13%	75.8	なし
110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	9	20.6	14.09	0.00%	73.6	なし

#### <解説>

手術の「体外衝撃波腎・尿管結石破碎術」は、体の外から衝撃波を当てることにより体の組織を傷つけることなく結石を砕きます。患者様への負担が少ないため、入院期間も短くなっています。

消化器内科

DPCコード	DPC名		症例数	平均在院日数		転院率	平均年齢	患者パス
	傷病名	手術・処置・副傷病情報		自院	全国			
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎	限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	32	11.1	11.48	0.04%	76.0	なし
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎	手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	31	26.2	22.02	0.30%	88.3	なし
060130xx99000x	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	26	10.9	7.55	0.08%	65.3	なし

<解説>

消化器内科は胃や腸、肝・胆・膵だけでなく肺炎等の内科疾患も診療しています。

## 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数（UICC第7版）

### <定義と集計方法>

- ・ 実患者数を集計しているため、集計期間内に同じ患者が複数回入院しても1件と数えます。
- ・ 当院において、癌の診断、初回治療を行った場合を「初発」とし、初回治療以降の継続治療を行った場合（他院で初回治療を行った場合を含む）を「再発」として集計しています。
- ・ 初発例で集計された患者は再発例には含めていません。
- ・ 病期分類はUICC病期分類（第7版）に基づいています。

	初 発					再 発
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	
胃癌	21	1	2	3	2	4
大腸癌	5	5	4	8	1	8
乳癌	0	0	0	0	0	1
肺癌	0	0	0	2	0	2
肝癌	3	2	1	1	1	4

### <解説>

患者数は胃癌が最も多く、次いで大腸癌、肝癌となっており消化器の癌の治療を多く行っています。

当院は消化器の癌について、内視鏡治療・腹腔鏡手術・開腹手術・抗がん剤治療など患者や癌の状態に合わせた治療法を選択することができるため、Stage I から Stage IV まで幅広く治療を行っていることが分かります。

## 成人市中肺炎の重症度別患者数

### <定義と集計方法>

- ・ 入院のきっかけとなった病名および最も医療資源を投入した病名が「肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎」(誤嚥性肺炎、インフルエンザ肺炎、ウイルス性肺炎を除く)であつて、市中肺炎(入院後発症の肺炎を除く)の症例が対象となります。
- ・ 日本呼吸器学会 成人市中肺炎診療ガイドライン 肺炎重症度分類(A-DROP)の定義に基づき、入院時の状態から重症度を決定し、それぞれ患者数、平均在院日数、平均年齢を示しています。

### <A-DROP システム>

1. 男性 $\geq 70$ 歳、女性 $\geq 75$ 歳
2. 尿素窒素 $\geq 21$  または脱水
3. 酸素飽和度 $\leq 90\%$
4. 意識障害
5. 収縮期血圧 $\leq 90\text{mmHg}$

軽 症：1～5いずれも満たさない  
 中等症：1つまたは2つを有する  
 重 症：3つを有する  
 超重症：4つまたは5つ またはショック  
 不明：1～5の項目のうち1つでも不明であつたもの

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	11	9.3	56.9
中等症	35	15.9	80.7
重症	14	16.6	84.4
超重症	2	9.5	86.0
不明	16	16.6	82.8

### <解説>

肺炎重症度で見ると、当院の約半数は中等症の方が多いです。  
 平均年齢が高くなるほど重症化するため、在院日数も長くなっています。

## 脳梗塞の ICD10 別患者数

### <定義と集計方法>

- ・ 医療資源を最も投入した傷病名が脳梗塞の患者さんを対象として、発症から入院までの日数別に、症例数、平均在院日数、平均年齢、転院率を示しています。

ICD-10	傷病名	発症日から	症例数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作および関連症候群	3日以内	5	7.6	77	0
		その他	-	-	-	-
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	52	42.4	76.4	0.3
		その他	15	45.8	76.5	0.1
I65\$	脳実質外動脈の閉塞および狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	1	9	83	0
		その他	1	3	73	0
I66\$	脳動脈の閉塞および狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	1	55	83	0
I675	もやもや病<ウィリス動脈輪閉塞症>	-	-	-	-	-
I679	脳血管疾患, 詳細不明	-	-	-	-	-

### <解説>

脳梗塞は脳外科で診療をしている症例の中で 20%を占めています。  
そのうち 80%近くの症例が発症から 3 日以内の急性期治療の対象です。  
また、当院は回復期病棟があるため、転院率は低めです。

## 診療科別主要手術の術前、術後日数、症例数トップ3

### <定義と集計方法>

- ・ 診療科別に手術件数の多い順に上位3術式について、症例数、術前日数、術後日数、平均年齢、転院率、患者用パスのURLを示しています。
- ・ 輸血関連は除外しています。
- ・ 症例数が3以下の症例は除外しています。

### 外科

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	34	1.5	7.7	0.00%	63.4	なし
K6335	ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	24	1.1	2.9	0.00%	71.0	なし
K7193	結腸切除術(全切除、垂全切除又は悪性腫瘍手術)	9	5.7	30.0	0.00%	73.2	なし

### <解説>

胆嚢摘出術は、体への負担が少ないよう腹腔鏡下で行われることがほとんどです。  
ヘルニアの手術は入院期間が短い傾向です。

### 内科

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者パス
K654	内視鏡的消化管止血術	7	3.9	40.1	0.13%	80.4	なし
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	5	31.6	36.6	0.13%	83.2	なし
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	4	9.8	21.8	0.08%	77.5	なし
K5223	食道狭窄拡張術(拡張用バルーンによるもの)	4	18.3	13.3	0.00%	84.0	なし

### <解説>

内科では内視鏡下の胃瘻造設術が主に行われています。

### 整形外科

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者パス
K0461	骨折観血の手術(肩甲骨、上腕、大腿)	120	5.4	34.6	1.18%	82.6	なし
K0462	骨折観血の手術(前腕、下腿、手舟状骨)	61	3.4	21.8	0.25%	67.0	なし
K0811	人工骨頭挿入術(肩、股)	44	6.8	40.4	0.42%	84.3	なし

### <解説>

骨折観血の手術は大腿骨の手術が多く行われています。  
整形外科は回復期機能のある病院へ転院することもあるため、他の科に比べて転院率が少し高くなっています。

### 脳神経外科

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者パス
K164-2	慢性硬膜下血腫洗浄・除去術(穿頭による)	19	1.6	17.7	0.17%	80.5	なし
K1781	脳血管内手術(1箇所)	8	1.9	70.8	0.04%	71.4	なし
K1742	水頭症手術(シャント手術)	7	28.3	59.0	0.08%	79.3	なし

#### <解説>

慢性硬膜下は高齢者の発症が多く平均年齢が高くなっています。

脳血管内手術は脳梗塞、くも膜下出血、脳脈瘤などの治療として行われます。

### 泌尿器科

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者パス
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	11	0.1	5.6	0.04%	67.0	なし
K610-3	内シャント設置術	10	1.7	7.8	0.00%	66.2	なし
K8036□	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他のもの)	9	0.6	4.7	0.00%	80.1	なし

#### <解説>

どの手術も術前・術後日数が短めです。

内シャント設置術は透析患者に行われます。

### 消化器内科

Kコード	名称(部位)	症例数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者パス
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	66	7.9	16.4	0.51%	77.9	なし
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(長径2センチメートル未満)	40	3.0	6.6	0.08%	72.1	なし
K6871	内視鏡的乳頭切開術(乳頭括約筋切開のもの)	34	5.8	19.5	0.21%	74.0	なし

#### <解説>

消化器内科は内視鏡治療を主に行っています。外科と連携を取り、患者様に一番良いと考えられる治療の提案を行っています。